

会場 旧嵯峨御所 大本山 大覚寺

自然を擁し歴史を育んだ地から、未来を創造する



真言宗大覚寺派の本山である大覚寺の歴史は、平安初期、この地を愛した嵯峨天皇が檀林皇后とのご成婚の新室として建立された離宮嵯峨院より始まる。正式には「旧嵯峨御所 大覚寺門跡」と称し、明治時代初頭まで歴代の天皇や皇族が門跡(住職)を務めた格式高い門跡寺院であり、いけばな発祥の花の寺、「嵯峨御流」の総司所(家元)でもある。南北朝時代、後宇多法皇が大覚寺に住したことから大覚寺統(南朝)と称され、1392年には南北朝講和が正寝殿で行なわれるなど、歴史的な舞台としても知られる。



歴史と風格ただよう
皇室ゆかりの庭園

嵯峨御所であった大覚寺。勅使門や宸殿などの建物が並ぶ中、京都御所と同じ様式の「右近の橋」や、大正天皇より御影堂を賜った折、五大堂跡地に設けた石舞台(舞楽台)など、皇室ゆかりの歴史と風格が漂う庭園が広がる。また、大覚寺の東に位置する大沢池(名勝)は、唐(現在の中国)

の洞庭湖を模して造られた日本最古の林泉式庭園で、嵯峨天皇が中秋の名月に舟を浮かべ、文化人・貴族の方々と遊ばれた由緒ある場所。池には蓮、池畔には桜や楓が茂り、四季折々に貴人が楽しまれた風雅な情景を思い描くことができる。

インフォメーション

日時: 2012年10月13日(土)
12:30 開場
13:00~16:50 開演
(基調講演・パネルディスカッション)
17:30~20:00 レセプション

会場: 旧嵯峨御所大本山大覚寺(京都)
〒616-8411 京都府京都市右京区嵯峨大沢町4

定員: 200名
※参加お申込み受付後、別途ご招待状をお送りいたします。
※応募が定員人数を超える場合は、ご希望にそえない場合がございますのでご了承ください。

参加費: 無料
※当日は招待状をご持参ください
※交通費はご負担ください

送迎バス: 詳細はご招待状にてご案内いたします

駐車場: 40台(有料)

お問い合わせ
シンポジウム運営事務局(日本テレネット株式会社内)
受付時間: 平日9:00~17:00(土日祝休)
TEL: 075-757-6639 FAX: 075-211-3771
E-mail: symposium@nippon-tele.net

アクセス: JR嵯峨嵐山駅からバス約6分(徒歩約17分)
阪急嵐山駅からバス約12分(徒歩約23分)



雪月花のコスモロジー 嵯峨野、次なる千年の火を語る

Soft Energy Paths

「ソフトエネルギー・パス」の

エイモリー・ロビンズ博士
来日記念シンポジウム



この度、「ソフトエネルギー・パス」の著者エイモリー・ロビンズ博士を千年の都、京都は嵯峨野に迎え、産業革命以来の大転換ともいえる再生可能エネルギーについて学び、「次なる千年の火の創造」と自然と共に生きる“共生”について皆様と共に語るシンポジウムを開催いたします。新たな価値観やライフスタイルを創造するきっかけとなれば幸いです。

主催: 京都エコエネルギー学院 **特別協賛:** 日本テレネット(株)、エコリンクス(株)

後援: 環境省、経済産業省 資源エネルギー庁、京都府、京都市、京都産業エコ・エネルギー推進機構、京都商工会議所、(社)京都経済同友会、(公社)京都工業会(順不同/敬称略/一部申請中)

日時: 2012年10月13日(土) 13:00~20:00(開場 12:30) **会場:** 旧嵯峨御所 大本山大覚寺(京都)



ゲストスピーカー

自然エネルギー・省エネルギーの展望と日本の未来



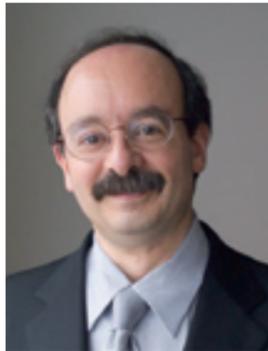
にいほら ひろあき
新原 浩朗 様

経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部長

昭和59年4月 通商産業省(現 経済産業省)入省
平成19年6月 経済産業政策局産業組織課長
平成21年7月 商務情報政策局商務流通グループ参事官
平成22年6月 内閣総理大臣秘書官
平成23年1月 大臣官房審議官(経済産業政策局担当)

第1部 基調講演

Reinventing Fire 新しい火の創造： エネルギー効率の向上と再生可能エネルギーへの転換



エイモリー・ロビンズ博士

ロッキーマウンテン研究所 代表

エネルギー効率の向上により需要を削減し、天然ガスと再生可能エネルギーを中心としたエネルギー供給により2050年の米国のエネルギー需要を満たす戦略についてまた日本特有の再生可能エネルギーの未来像について語る

- 再生可能な資源と環境についての第一人者。OECD、国連など国際機関、オーストラリア、カナダ、イタリア政府などもクライアントに抱え、2009年、タイム誌が特集する「世界で最も影響力のある100人」に選ばれた
- この度、ダイヤモンド社から「Reinventing Fire新しい火の創造」を出版する記念イベント、NHK放送の特別番組収録と、朝日新聞社の地球環境フォーラムに出席のため来日する
- ハイパーカー(超軽量自動車)の提案、クリントン基金によりエンパイアステートビルの省エネルギー改築計画を実施*
- 室田泰弘・植屋治紀訳「Soft Energy Paths(ソフトエネルギー・パス)」(時事通信社、1979年)
- 佐和隆光監訳「自然資本の経済」(日本経済新聞社、2001年)
- 山藤泰訳「スモール・イズ・プロフィタブル」(省エネルギーセンター、2005年)

*クリントン元大統領は、オックスフォード大学以来の親友

第2部 パネルディスカッション

21世紀のエネルギー環境政策と再生可能エネルギー普及の進め方

コーディネーター



つちや はるき
植屋 治紀

京都エコエネルギー学院 学院長
東京大学大学院機械工学科博士課程修了/工学博士

1980年 効率向上と再生可能エネルギーによる日本のエネルギー自立計画を研究、1990年 太陽電池のコスト低下を学習曲線により分析した。エネルギー分析に関する論文多数。2007年 IPCCのノーベル平和賞受賞に伴いIPCCから協力証書を授与された。日本政府の地球温暖化対策に関する各種委員会委員をつとめている。

著書：「エネルギー耕作型文明」、「エネルギーのいま・未来」、「燃料電池」

パネリスト

エイモリー・ロビンズ 氏
ロッキーマウンテン研究所 代表



プログラム

13:00 **主催者挨拶** 植屋 治紀(京都エコエネルギー学院 学院長/工学博士)

御来賓挨拶 山田 啓二 様(京都府知事) 門川 大作 様(京都市長)

13:30 **ゲストスピーカー** (同時通訳つき)
自然エネルギー・省エネルギーの展望と日本の未来
新原 浩朗 様(経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部長)

13:50 **第1部 基調講演** (同時通訳つき)
**Reinventing Fire(新しい火の創造)：
エネルギー効率の向上と再生可能エネルギーへの転換**
エイモリー・ロビンズ博士(ロッキーマウンテン研究所 代表)

15:10 休 憩

15:20 **第2部 パネルディスカッション** (同時通訳つき)
21世紀のエネルギー環境政策と再生可能エネルギー普及の進め方
コーディネーター：植屋 治紀(京都エコエネルギー学院 学院長/工学博士)
パネリスト：エイモリー・ロビンズ 氏(ロッキーマウンテン研究所 代表)
福山 哲郎 氏(参議院外交防衛委員長/前・内閣官房副長官/参議院議員)
佐和 隆光 氏(滋賀大学学長/元京都大学経済研究所所長)
村上 憲郎 氏(村上憲郎事務所代表/前グローバル日本法人名誉会長)

16:50 **閉会の挨拶** 瀧 栄治郎(日本テレネット株式会社 代表取締役会長/エコリンクス株式会社 代表取締役)

17:00 **フリータイム**

17:30 **レセプション**
ご 挨拶：戸田 隆(日本テレネット株式会社 代表取締役社長/エコリンクス株式会社 取締役)
スペシャル
スピーカー：月尾 嘉男 様(東京大学名誉教授)
アトラクション：■王朝文化を彩る日本の伝統芸能を予定
■大沢池舟遊び(雨天中止)
嵯峨天皇と弘法大師空海が舟を浮かべて楽しまれた、風雅な情景を偲んでいただけます

20:00 **閉会** (プログラム内容および出演者は変更となる場合がございますので予めご了承ください)

福山 哲郎 氏
参議院外交防衛委員長/前・内閣官房副長官



参議院議員(京都・当選3回)。同志社大学法学部卒業。京都大学大学院法学研究科修士課程修了。参議院環境委員長、民主党政調会長代理などを経て、鳩山内閣では外務副大臣、菅内閣では内閣官房副長官として外交・震災対応等にあたる。気候変動問題とグリーン経済の実現をライフワークとする。著書に「民主主義が一度もなかった国・日本」(共著。幻冬舎新書)、『原発危機 官邸からの証言』(ちくま新書)等がある。

佐和 隆光 氏
滋賀大学学長/元京都大学経済研究所所長



専攻：計量経済学、エネルギー・環境経済学
1965年東京大学経済学部卒、東京大学経済学博士。これまで、京都大学経済研究所所長、立命館大学大学院教授および京都大学経済研究所特任教授、環境経済・政策学会会長等を歴任。2010年4月より現職。交通政策審議会会長、中央環境審議会委員も務める。2007年11月には紫綬褒章を受章。主な著書に『佐和教授はじめての経済講義』『グリーン資本主義』等多数。

村上 憲郎 氏
村上憲郎事務所代表/前グローバル日本法人名誉会長



1970年京都大学工学部資源工学科卒業後、日立電子(株)のSEとしてキャリアをスタート。米国DEC本社勤務を経て、日本DEC(株)取締役、ノーザンテレコムジャパン(後のノーテルネットワークス(株))代表取締役社長を歴任。2003年Google米国本社副社長兼日本法人代表取締役、2009年より同社名誉会長。現在は、村上憲郎事務所代表を務める。主な著者に「知識ベースシステム入門」、「村上式シンプル仕事術」等。